

図書館だより

2023年度 第10号

北海道

今月の展示

旅行案内・地理・伝承・小説など

図書館の今月の展示は、「北海道」です。行ったことがある人もない人も、これから行く人も見て・読んで楽しんでください。

旅行案内や、知識を深めるための北海道の地理の本、アイヌの伝承や、北海道が舞台の小説などを揃えています。ぜひご覧ください。



新着図書から

国語の時間

(なるにはBooks 教科と仕事)

松井大助 漆原次郎

「教科と仕事」シリーズの1冊。他に「数学の時間」と「英語の時間」を所蔵しています。（「理科」と「社会」は今後刊行予定）

現役の職業人へのインタビューを織り交ぜながら、教科の学びが職場でどう活かされるのか、ポイントを押さえて解説されています。

一例を挙げると、プロバスケットボール選手にとって国語がどんな場面で活かされているかが解説されています。言葉で自分やチームの分析をする、チームメイトやスタッフとのコミュニケーションをとる、などの場面です。また、そのようなチームプレーを必要とする他の職業も挙げられていて、多くの人の参考になる本です。

「今やってる勉強って、将来何の役に立つんだろう・・・？」という疑問に答えてくれる本です。

僕らの未来が変わるお金と生き方の教室

池上彰 監修

この本を読んで、学べることはたくさんありますが、大きくまとめると3つのことが学べます。

一つ目は、お金の知識です。お金の機能・役割や経済用語（インフレ・デフレ、円高・円安、株式、投資など）が易しい言葉とイラストを交えながら解説されています。

二つ目は、お金と社会の関わりです。銀行や企業、政府と、消費者・労働者の間でどのようにお金が回り、社会を形作っているのかが書かれています。

三つ目は、お金と個人の生き方の問題です。お金を稼ぐための働き方、お金の使い方、貯め方は個人で決定するものですが、それはその人の「生き方」そのものだといえます。

高校生の美帆を主人公にしたマンガを差し挟みながら楽しく読んでいっうちに易しく学べます。

世界一わかりやすい筋肉のつながり図鑑

きまたりよう

著者のきまたりようさんは、ストレッチトレーナー。お客さんに施術の説明するために描いたイラストをSNSにアップしていたところわかりやすいと話題になり書籍化された本です。

筋肉を筋膜との「つながり」でとらえ、イラスト化。体の前、後ろ、横、深層、腕、足など13の部位ごとに筋肉の「つながり」を体の動きと関連付けたイラストを大きく配して解説されており、わかりやすいです。

スポーツをする人はもちろん、姿勢を良くしたい人、日常の動作を快適にしたい人にも役立つ本です。

今号の「新着図書から」では、物語以外の本をピックアップして紹介しました。学校での学習や日常行っていることの学びを深めるためにこれらの本を手にとって読んでみてはいかがでしょうか。